

戦争の時代を生きた人たちの労苦を伝える



引揚船のタラップを上る人々
三宅一美 撮影

入場無料

令和4年

1月7日(金) → 12日(水)

9:30 → 17:00

会場

イーグレひめじ
姫路市民ギャラリー
第3・4展示室

平和祈念展 in 姫路

特別展示

「姫路空襲と
ルネッサンス
焼け跡の文芸復興」

協力
姫路市平和資料館
姫路文学館



救援物資を受け取る引揚者
三宅一美 撮影

主催／平和祈念展示資料館（総務省委託）

共催／姫路市

後援／姫路市教育委員会、兵庫県、兵庫県教育委員会



シベリア抑留者が
飢えに耐えかね、袖の部分を
パンと交換した防寒外套



戦争で多くの**兵士**が必要になると、
徴兵検査に合格した男性に出された
臨時召集令状（赤紙）



満州からの引揚者の女性が
娘に着せるため、亡くなった赤ん坊の
おむつで作ったワンピース

※満州＝現・中国東北部

平和祈念展 in 姫路

平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、戦争が終わってからも苦しくつらい体験をした人たちがいることを知っていたため、全国各地で展示会を開催しています。

「平和祈念展 in 姫路」では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者に関係する、当資料館の代表的な所蔵資料を紹介します。また、釜山日本人世話会のメンバーとして引揚者の帰還に尽力した三宅一美氏が、帰国を待つ引揚者たちを撮影した貴重な写真も展示します。

特別展示では、姫路市平和資料館、姫路文学館が所蔵する、姫路空襲と復興に関する資料を紹介します。



満州から日本へ引き揚げる途上で母娘が背負ったリュックサック

海外からの引揚者

敗戦によって外地での生活のよりどころを失い、身に危険が迫る過酷な状況の中をくぐり抜けて、祖国に戻ってこられた方々です。

兵士

国のために家族を残し、危険な戦地に向かい、命をかけて戦務に従事し、大変な労苦を体験された方々です。

戦後強制抑留者

戦争が終結したにもかかわらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルの酷寒の地において、乏しい食糧と劣悪な生活環境の中で過酷な強制労働に従事させられた方々です。

収容所で抑留者が白樺の木を削って作った食器



収容所で抑留者が白樺の木を削って作った食器

「姫路空襲と焼け跡の文芸復興」

二度の空襲を受け、焼け野原となった姫路。空襲直後の写真や空襲のすさまじさを物語る実物資料を展示します。あわせて、終戦後、姫路復興の原動力の一つとなった播磨の文学運動を紹介し、焼け跡から立ち上がった人々の姿を伝えます。

特別展示



空襲後の姫路（福中町から北東望）
（高橋秀吉コレクション／兵庫県立歴史博物館 所蔵）



『姫路文学』創刊号
（姫路文学館 所蔵）

姫路市平和資料館

姫路市が行っている「平和都市宣言」「非核平和都市宣言」に基づき、戦争の惨禍と平和の尊さを後世に伝え、平和な社会の発展に寄与するため、空襲に視点を置いた資料館として設立されました。

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）／祝日の翌日（土、日、祝日を除く）
姫路市西延475（手柄山山上） Tel.079.(291)2525



姫路文学館

「姫路城歴史ものがたり回廊」や「ことばの森展示室」「司馬遼太郎記念室」等を常設するほか、多彩な展覧会やイベント、収蔵品を通して「ことば」と「ものがたり」の魅力を伝えています。

開館時間 10:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）／祝日の翌日（土、日、祝日を除く）
姫路市山野井町84 Tel.079.(293)8228



姫路文学館北館（安藤忠雄氏設計）

◆ 姫路市平和資料館 × 平和祈念展示資料館 ◆

『凍土の記憶 抑留者が描いたシベリア』
令和4年1月8日（土）～2月23日（土）祝 会場：姫路市平和資料館

入場無料

会場

イーグレひめじ
姫路市民ギャラリー 第3・4展示室
兵庫県姫路市本町68-290



電車でお越しの方

▶ JR 姫路駅から姫路城（北）の方へ歩いて約600m（大手前公園南側）

車でお越しの方

▶ 大阪方面からは、山陽道姫路東IC下車→姫路城前へ
▶ 岡山方面からは、山陽道姫路西IC下車→姫路城前へ
▶ 姫路バイパスからは、中地ランプ下車→姫路城前へ

※ 駐車場は、イーグレひめじ地下駐車場、大手前公園地下駐車場へ（約600台駐車可）

平和祈念展示資料館（総務省委託）